

時計台前から

私たちは世界とあなたを結ぶ
パートナーです。

公益財団法人札幌国際プラザは、国際都市さっぽろの
更なる発展を目指して地域の特性を活かした
交流をすすめています。

異なる言語・文化を尊重しあい、共に生きるまちづくりや、
MICEの振興、人材の育成を行っています。

ビジョン

わたしたちは、みんなにやさしく魅力と
活力あふれる国際都市札幌を創造します。

ミッション

- I 様々な人、文化、情報が集まり、繋がり、広がる拠点となります。
- II 市民主体の多文化交流をプロデュースします。
- III MICEを通じた人々の交流と地域経済の活性化を推進します。

PLAZA PICK UP NEWS

PICK UP
01
★★

多言語で分かりやすい 「ごみ出しルールシート」作成

基本的なごみ出しルールについて、外国人住民の理解を深めてもらうため、札幌市環境局の協力を得て、当財団の外国籍スタッフや主催事業に参加している外国人住民と検討を重ね、4か月をかけて作成しました。

作成にあたっては、分別の習慣がない国から来た方にも、「なぜごみを分ける必要があるのか」「ルールを間違えるとどうなるか」を理解してもらえるよう工夫をしました。

本資料は、現在11言語に対応しており、「さっぽろ外国人相談窓口」のホームページに掲載しておりますので、ぜひご活用ください。



ごみ出しルールシート

英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語、ミャンマー語、インドネシア語、タイ語、シンハラ語、ロシア語、ドイツ語（2026年4月現在11言語）

PICK UP
02
★★

韓国・大田広域市、中国・瀋陽市 姉妹・友好都市提携周年記念事業

2025年、国際プラザでは姉妹・友好都市との提携において、節目の年を迎えた都市との交流事業を行いました。

姉妹都市提携15周年を迎えた韓国・大田広域市とは、10月に記念友好音楽会のため札幌を訪れた大田の音楽家ら16人をゲストに迎え、市民と韓国語で交流するイベント「レッツトーク韓国語スペシャル～姉妹都市・大田の音楽家と語ろう～」を実施しました。札幌市民など26人が参加し、交流を楽しんだほか、イベントの最後にはピアノ伴奏に合わせて、韓国の歌曲を生で披露するミニコンサートも行われました。音楽を通じて交流を深めるひとときとなりました。

また、友好都市提携45周年を迎えた中国・瀋陽市については、8月に開催された「チャイナフェスティバル2025札幌」において、札幌市と共に記念ブースを出展し、クイズや動画、瀋陽市の伝統芸能の体験などを通じて、両市の友好交流の歴史や瀋陽市の文化等を紹介しました。2日間で延べ531人がブースを訪れ、会場はにぎわいを見せました。



レッツトーク韓国語スペシャル
～姉妹都市・大田の音楽家と語ろう～



「チャイナフェスティバル2025札幌」における記念ブースの出展

MAXiMICEキックオフイベント開催

国際プラザ・コンベンションビューローでは、「MICEにおける札幌の魅力最大化」を目的としたプロジェクト「MAXiMICE（マキシマイズ）」を始動しました。2025年12月にはキックオフイベントを開催し、札幌MICEの魅力と未来を語るトークセッションやオリジナルカクテルパフォーマンスが会場を盛り上げました。参加者同士の活発な交流が行われ、ネットワーキングを通じた新たなビジネスチャンスの創出にもつながっています。今後も定期的な開催を通じて、さらなる交流促進と札幌MICEの発展を目指していきます。



大型国際会議「OSEALフォーラム2025」開催をサポート

2025年の大型国際イベントとなる、世界最大の社会奉仕団体・ライオンズクラブ主催「OSEAL（東洋・東南アジアライオンズ）フォーラム」が札幌で開催されました。札幌での開催は41年ぶり2回目、国内では2019年の広島大会以来6年ぶりの開催となりました。25か国・地域から約1万人が集い、市内4会場において各種プログラムが実施されました。

国際プラザ・コンベンションビューローでは、国際会議開催支援の一環として62人の外国語ボランティア（英・中・韓）を派遣。リニューアルオープンした赤れんが庁舎での参加者登録受付をはじめ、札幌コンベンションセンターや開会式会場となった大和ハウス プレミストームでの来場者の誘導・案内など、大会運営をサポートしました。

本フォーラムは大型国際会議として、宿泊や飲食などを含めた札幌市への経済波及効果は21億円以上と見込まれています。



2025年度実績

札幌国際プラザの活動紹介



01 さっぽろ外国人相談窓口

★★

●2025年度相談対応件数



1,640件

●外国人のための無料専門家相談会
(弁護士、行政書士/社労士、税理士)



隔月

6回

91組・106件

●さっぽろコミュニティ
通訳派遣件数

246件(8言語)

●札幌生活オリエンテーション
(春11人、秋28人)

全2回 39人参加

●外国人のための専門家セミナー(オンライン)
(相続、税の確定申告)

全2回 27人参加



02 外国につながる子ども・子育て支援

★★

- 外国につながる子どものための学習支援 ……全14回 延べ228人参加
- 外国につながる親子のための小学校入学ガイダンス ……8か国・地域 21人参加
- 日本語を母語としない子のためのプレスクール ……全5回 7か国・地域 延べ26人参加
- 高校進学ガイダンス(札幌市教育委員会主催) ……7か国・地域 29人参加
- 外国につながる親子ミートアップ ……全2回 11か国・地域 64人参加

新規事業:外国につながる子どもと親のためのフリースペース:シマシマ!

海外にルーツがある小学生から高校生と、その保護者が集い、仲間をつくる事業です。「勉強のシマ」「遊びのシマ」「おしゃべりのシマ」「ママパパのシマ」などのテーブルがあり、自由に過ごしますが、音楽好きな親子による歌の披露や、進学について先輩生徒や保護者から話を聞くイベントなども行いました。奇数月の第2土曜日全6回実施し、延べ118人(小学生58人、中学生7人、高校生16人、保護者37人)が参加しました。



音楽好きな親子による歌の披露



03 札幌の地域日本語教育を支える

★★

- 基礎日本語教室「はじめての にほんご くらす」…4コース(各6回) 延べ414人参加
- 日本語学習支援者になるための講座…全3回 修了者 42人
- セミナー「外国人とともに暮らすことばとコミュニケーション」…参加者 78人
- 「にほんごで はなそう!ぺらぺらすいようび」
…延べ2,488人参加(うち、学習者44か国・地域 延べ1,563人)



はじめてのにほんごくらす



にほんごではなそう!ぺらぺらすいようび

2026年度は地域日本語教育に関する事業を拡充します

国際プラザでは、2026年度に札幌市の「地域日本語教育の体制づくり推進事業」を受託し、初級程度の内容を体系的に学べる教室を拡充します。また、地域日本語教育コーディネーターを配置し、関係団体等との連携を進め、札幌市全体で日本語学習を支える体制づくりに取り組みます。



04 外国人を対象にした防災啓発



●外国人のための防災デー

12か国・地域 19人

●札幌市総合防災訓練への参加

8か国・地域 15人

●札幌災害外国人支援チームSAFE

災害時に国際プラザに設置される災害多言語支援センターと協力し、外国人支援にあたるチーム

認定メンバー

16か国・地域 45人
18言語対応



「外国人のための防災デー」
ハザードマップを確認する様子

05 札幌留学生交流センターの管理・運営

2025年度 年間入居率 93.4%/延べ34か国・地域の留学生在居住
相談対応:478件/交流事業:19事業



留学生交流センターの文化祭
「世界探検まつり」での語学講座

札幌留学生交流センターは留学生用の住居施設です。札幌市からの指定を受けて国際プラザが管理・運営し、11階建ての3階以上に単身80室・世帯20室を備え、様々な国・地域の留学生とその家族100人以上が生活しています。またRA(レジデント・アシスタント)として留学生の生活サポート役を務める日本人学生も一緒に住んでいます。

このセンターでは、施設の管理だけでなく、留学生たちが安全・安心に暮らし、地域との相互交流によりお互いの理解を深められるように、入居者の相談対応やその子どもたちの支援、交流事業などが多岐にわたって行われています。

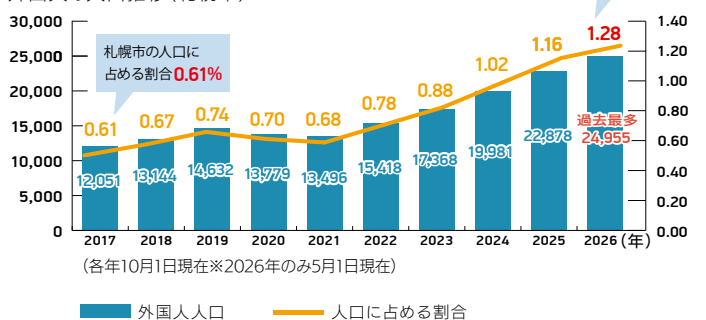
2025年は、入居者の子どもが小学校に入学するにあたり、日本語コミュニケーション支援を行う『てらこや』事業を3年ぶりに実施しました。日本語がほとんどわからない子どもに、挨拶から文字の書き方まで丁寧にサポートすることで、子どもも自信が付き、学校生活にも徐々に適応できるようになりました。

センターならではの取組みにより、多くの留学生が快く生活し、より札幌を好きになる環境が提供されています。



外国人人口最多更新継続中

外国人の人口推移(札幌市)



札幌市に住む
外国人
(2026年5月1日現在)

人数
24,955↑

国籍・地域別(多い順5か国)

中国	5,975人
韓国	2,983人
ベトナム	2,731人
インドネシア	2,712人
ミャンマー	2,205人

参考:札幌市ICT活用プラットフォーム
DATA-SMART CITY SAPPORO
札幌市/国籍・地域別外国人住民登録者数
https://can.pf-sapporo.jp/dataset/kokuseki_chiiki_gaikokujin



06

姉妹都市・米国ポートランド市との高校生交流

●ポートランド市・グラント高校生夏期研修

日本語を学ぶ高校生16人が来札し、ホームステイをしながら市立高校での授業体験や小学校訪問、日本文化体験などを通じて市民との交流を深めました。

●札幌市立高校生ポートランド派遣

市立高校の生徒16人が、ポートランド市を訪問し、ホームステイや現地高校での授業体験、探究活動を通じて、国際的な視野を広げました。

●「レッツトーク・イングリッシュ高校生スペシャル2025」

グラント高校生の来札時に札幌市内の高校生を対象とした交流イベントを開催。86人が参加し、ゲームやおしゃべりを楽しみました。



グラント高校での授業体験



レッツトーク・イングリッシュ高校生スペシャル2025

札幌市立高校生ポートランド派遣事業へのご支援をお願いいたします。

派遣生徒の経済的負担を軽減するため、寄付金を募集しております。寄付のお申し込みは、札幌国際プラザホームページで受け付けております。



寄付のお申込みはこちら

07

国際社会・多文化共生社会の未来を担う人材を育成

●SAPOROこども未来トーク

小学生 **19**人
大学生
サポーター **5**人
外国人
協力者 **24**人

●国際交流員による総合学習支援

対応件数 **31**件
受講児童・生徒数 **1,772**人

●国際理解イベント

「世界をめぐるろう!in 大通高校」 小学生 **19**人
(市立札幌大通高校との共催) 外国にルーツを持つ高校生 **17**人



SAPPOROこども未来トーク



世界をめぐるろう!in 大通高校

08

市民ボランティアによる様々な活動

●外国語ボランティア

登録者 10か国語 **290**人
派遣10件 延べ541人活動

●ホームステイボランティア

登録家庭 **95**家庭 プログラム7件
(ホームステイ4件、ホームビジット3件)
延べ21家庭で13か国・地域40人のゲストを受入

●日本文化体験ボランティア

登録者 **36**人
派遣2件 延べ17人活動

●さっぽろ外国人市民パートナー

登録者 **36**人
同パートナー等の活動 4件 延べ15人



札幌に住む外国人のためのホームビジット



日本文化体験ボランティアによる茶道体験

09 2025年度MICE開催件数



ICCA(国際会議協会)が発表する世界の国際会議統計・都市ランキングで、東京、京都、大阪に続き、国内4位を2年連続で維持。アジア太平洋地域では23位にランクインしました。インセンティブツアーでは、好調の韓国・台湾に加え、2025年度はマレーシア、インドネシア市場も大きく躍進。アジア各国からの注目と期待がさらに高まる一年となりました。

コンベンション開催件数 ※1月～12月

488件

うち国際会議 54件
国内会議 434件

国際会議協会(ICCA)基準会議・都市ランキング

24件 国内4位

アジア太平洋地域23位 / 世界112位

1位 東京 119件
2位 京都 53件
3位 大阪 35件
4位 札幌 24件
5位 福岡/横浜 23件

インセンティブ支援件数

※4月～3月

69件
9,257人

国・地域別

韓国 2,675人/11件
台湾 1,659人/13件
インドネシア 1,640人/12件
マレーシア 1,331人/13件
タイ 900人/ 6件
その他

10 雪上のチームビルディング in さっぽろ羊ヶ丘展望台

香港企業のインセンティブツアーにおいて、雪解けが進む3月下旬に雪を活用したチームビルディングの要望を受け、市内事業者と連携してプログラムを実現しました。さっぽろ羊ヶ丘展望台を会場に、札幌国際スキー場が特別に雪を提供し、国際プラザ・コンベンションビューローの養成講座を受講した多言語ファシリテーターが進行。雪灯籠での企業ロゴ制作や雪玉ストラックアウトを行い、参加者は札幌ならではの雪体験を満喫し大いに盛り上がりました。地域事業者の連携により、主催者ニーズに応えるとともに札幌の魅力発信につながる取組となりました。



雪玉ストラックアウトの様子

11 サステナビリティへの取り組み

国際プラザ・コンベンションビューローが参加している、「GDS-Index」※では、2025年は69.5%にスコアアップしました。2026年までに70%の達成を目指しています。また、一般社団法人さっぽろ北海道MICE振興協会(MESH)との連携のもと、道内での植林活動や森林管理、野生生物の保護支援への寄付を継続しています。

※GDS-Index 持続可能な観光・MICE都市としての国際的評価指標

2025年GDS-Index達成度

2023年:67%
2024年:65%



69.5%

サステナビリティ事業の寄付額

34,957円



GLOBAL
DESTINATION
SUSTAINABILITY
MOVEMENT

サステナビリティポリシー

2025年4月、ステークホルダーの皆さまと価値観を共有しながらサステナブルなMICEを実現するための基本的な方針を定めました。

<https://www.conventionsapporo.jp/sustainability/>



★ プラザサポーターズ 札幌国際プラザ賛助会員企業のご紹介 ★

北海道・札幌のまちをより良くしたい、元気にしたい、そんな法人賛助会員の皆様の地域貢献活動や、地域へそそぐ熱い思いをご紹介します

株式会社 コンベンションリンケージ

CONVENTION
LINKAGE



コンベンションリンケージは、1996年の創業以来、国際会議、学術会議、企業イベント、展示会、式典など、多様なMICE (Meeting, Incentive, Convention, Exhibition/Event) の企画・運営において豊富な実績を有するプロフェッショナル集団です。全国でコンベンション施設や文化施設などの管理運営を手掛け、施設運営から誘致、企画、運営まで一貫したサービスを提供しています。

2010年から札幌コンベンションセンター指定管理として、国際会議、大型医学会、インセンティブ、展示会まで幅広いMICEの誘致から開催サポートに取り組んでいます。また、国内既存MICE施設で初となるLEED O+M認証「GOLD」の取得や、官民連携による再生可能エネルギーの地産地消、再生可能エネルギー100%電力の導入など環境に配慮した施設運営を積極的に推進しています。高品質な施設運営と長年培ったノウハウを活かし、安全・安心で持続可能なMICEの開催を支え、人・社会・地域をつなぐ交流拠点として新たな価値の創出に取り組んでいます。

活動を支えてくださる賛助会員を募集しています

札幌国際プラザは、みんなにやさしく魅力と活力あふれるまちを目指し、在住外国人支援や異文化理解・国際交流の推進、国際会議や企業旅行など(MICE)の誘致を図ってまいります。さらに充実した活動を続けていくために、賛助会員としての継続的なご支援をお願いいたします。

法人会員：121団体
個人会員：282人 (2026年3月31日現在)
年会費：法人1口 20,000円 ※1口以上、何口でも結構です。
個人1口 3,000円
※当財団へのご寄付は、寄付金控除等の税の優遇措置の対象となります。

ご入会・
お問い合わせは
こちらから



ご入会・
お問い合わせ

ウェブサイト(または右の二次元コード)から、または企画事業部総務企画課までお問い合わせください。
☎011-211-3670 Email: sanjo@plaza-sapporo.or.jp

活動に感謝いたします ～札幌ホームステイ協会 解散～

ボランティア同士の親睦や研修などを行ってきた札幌ホームステイ協会が、設立40周年を迎えた今年、活動を終えることになりました。解散にあたり、国際プラザに265,244円をご寄付いただきました。頂いたご寄付は今後、ホームステイ交流をはじめとする当財団の国際交流・多文化共生事業に役立ててまいります。



編集・発行



公益財団法人 札幌国際プラザ

公益財団法人札幌国際プラザは、札幌市の出資団体です。



ホームページ



Facebook



YouTube



Instagram

1987年 6月	任意団体札幌国際交流プラザ運営委員会設立、札幌国際交流プラザ開設
1991年 7月	財団法人札幌国際プラザ設立
2011年 4月	公益財団法人へ移行
2018年 4月	札幌留学生交流センターの指定管理者となる
2019年11月	さっぽろ外国人相談窓口開設(札幌市より受託運営開始)

〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目 札幌MNビル 3F TEL:011-211-3670
MN Bldg., Kita1 Nishi3, Chuo-ku, Sapporo 060-0001 JAPAN FAX:011-211-3673
URL: <https://www.plaza-sapporo.or.jp/> E-mail: sicpf@plaza-sapporo.or.jp



印刷

総合商研株式会社

環境負荷を少なくする為に、植物性インキを使用し、回収廃油を発生させない「水なし印刷方式」を用いた地球にやさしい印刷物です。